

1 目的

日常の看護実践から出された疑問を研究課題に発展させ発表することにより情報を共有し県北支部の看護の質の向上を図る。

2 主催

公益社団法人福島県看護協会 県北支部

3 期日・開催方法

令和7年2月8日 土曜日 ZOOM オンライン開催

※開催方法は後日お知らせいたします。

4 応募資格

演題発表者（筆頭研究者）及び看護職の共同研究者は、福島県看護協会会員に限る。

※非会員の方は、所定の入会手続きを行ってください。

5 受付

① 未発表の演題であること。

※施設内で発表したものは応募可

② 倫理的に配慮された研究内容であり、その旨が本文中に明記されていること。

③ 集録原稿作成方法に沿って作成され、不備がないこと。

6 応募方法

演題申し込みをしてから、原稿申し込みをしてください。

①演題申し込み

(1) 演題申込は、①演題名②発表者③所属施設名④電話番号⑤メールアドレスを記載し、締切日を厳守の上、指定の応募先へメールで送信する。

※演題申込日：令和6年9月4日 水曜日 16時まで必着

②原稿申し込み

(1) 「集録原稿は、集録原稿作成要項を参考にし<様式：1>の様式にて作成し締切日を厳守の上、指定の応募先へ添付メールで送信する。

(2) 県北支部教育委員からの演題申し込み完了メールに添付されている、集録募集チェックリスト<様式：2>は、レ点でチェックし締切日を厳守の上、集録原稿と合わせて下記の応募先へ添付メールで送信する。

※原稿・チェックリストの送信締切日：令和6年10月4日 金曜日 16時まで必着

(3) 演題申込の後に、県北支部教育委員から原稿について連絡があった場合は、コメントに沿った修正を行い、締切日を厳守の上、指定の応募先へ添付メールで再提出する。

※原稿の再提出締切日：令和6年11月13日 水曜日 16時まで必着

7 発表形式

① 口演発表で1人8分です。

② 質疑応答は、各群の演題発表が終了してから行います。

発表用スライドの提出

発表形式は口演発表となるため、発表用スライドを作成し、締切日を厳守の上、下記の応募先へ添付メールで送信する。

※スライドの送信締切日：令和7年1月17日 金曜日まで必着

※会場に発表用パソコン・プロジェクターを準備しておきます。

※発表者は、念のため、発表当日にデーターを持参して下さい。なお、当日のパワーポイントの変更はできません。

8 看護研究発表会の参加申し込み

オンライン開催になりますので、参加申込書の2次元コードから申し込みをしてください。

① 後日各施設にプログラムと参加申込書を送付します。参加申込書に記載されている2次元コードより申し込みをしてください。

※看護研究集録集付き参加申し込みの締切日：令和6年11月22日 金曜日 16時

※締切日が過ぎても申込みは可能です（集録集は配送されません）

※演題発表者、座長、県北支部委員も参加者に含まれますので、上記の方法で申し込みをしてください。

※発表会当日は、複数名で一つのアクセスから視聴していただいて構いません。複数名で視聴する場合は、ZOOMの画面のチャット機能を使用し、施設名の入力とかつこ書きで視聴人数を入力してください。

9 演題、原稿、参加申し込みの応募先

〒964-8501 福島県二本松市成田町一丁目 553 番地

独立行政法人 地域医療機能推進機構 二本松病院

看護部長室 永傳雅美 行

TEL : 0243-23-1231 FAX : 0243-23-5086

mail : kenho9kan5ken9@gmail.com

10 集録原稿作成要項

- ◇ 集録原稿作成方法<別紙：1>を参照し所定の様式にて作成する。
- ◇ A4 判横書きで文字体：明朝体、本文の文字サイズは 10.5 ポイントとし英数字は半角とする。
- ◇ 3 枚以内にまとめる。(引用文献、図表等を含む)。本文は「である」調に統一する。
- ◇ 表題の文字サイズは 14 ポイントとする。キーワード・発表者名、共同研究者名、所属施設名の文字サイズは 9 ポイントとし、正確に記載する。演題は中央寄せとし、その他は右寄せとする。キーワードは 3～5 つ以内とする。
- ◇ 本文中の大項目から小項目の番号は、I、1、1)、(1)、①の順に記載する。
- ◇ 『演題』(タイトル)は、論文の内容が《題名》からイメージできるもので、必要に応じてサブタイトルをつけても良い。
- ◇ 『キーワード』は論文の内容を表す重要な語句で、この論文が目的を持って検索しようとする人や知ってもらいたい人にヒットするようにつける。
- ◇ 原稿は「はじめに」「目的」「方法」「倫理的配慮」「結果」「考察」「結論」「引用文献」の項目別にまとめ、各項目にはローマ数字で番号を付ける。
- ◇ 『はじめに』は、研究の意義、背景、目的、動機を明記する。このとき、社会的背景、歴史的な経過、先行研究などの文献検索内容を含めて記載する。
- ◇ 『研究方法』は、研究の調査目的、研究対象、研究調査期間、研究の分析・解析方法を明記する。また、《用語の定義》《資料の検討》について記述されることもある。
- ◇ 『倫理的配慮』は、**11 倫理的配慮とその記述方法**を参照し明記する。
- ◇ 『結果』は、その研究方法で得られた結果、データ、成績を整理し明記する。図、表、資料、写真は明瞭かつ簡潔で、必要と判断されたものだけをだす。○人、○%など単位をつける。
- ◇ 『考察』は、研究の分析結果に基づいて解釈・意味づけ・評価・検討を行う。研究結果から新たな知見があるか、学問的意義があるか、普遍化できるものであるか、特殊性のあるものなのか等を論理的にまとめる。《本研究の限界と課題》について言及してもよい。
- ◇ 『結論』は、結果から導かれた結論を明記する。明らかになったことを簡潔に整理する。
- ◇ 図表は、それぞれ通し番号とタイトルをつける。表の番号とタイトルは表の上、図の番号とタイトルは図の下に中央寄せとする。白黒印刷で判別できる明瞭なものとする。
- ◇ 『引用文献』は、引用順に本文の引用カ所の肩に上付きで^{1) 2)}と記載する。本文の最後に一括して引用番号順に記載する。
- ◇ 『引用文献』と『参考文献』は、区別して記載する。
- ◇ 文献の記載方法は次の通りとする。

【雑誌掲載論文】

著者名：表題名、雑誌名、巻(号)、頁、発行年(西暦年次)

例) 県北花子：看護の○○○研究,第○回日本看護学会論文集(看護管理), p.35-38, 2008.

【単行本】

著者名：書名(版)、発行所、頁、発行年(西暦年次)

著者名：表題名、編者名、書名(版)、発行所、頁、発行年(西暦年次)

例) 県北花子：看護実践研究の手引き(3), ○○看護出版, p.145-148, 2006.

【 翻 訳 書 】

原著者名：書名（版）、発行所、訳者名、書名（版）、発行所、頁、発行年（西暦年次）

例) Alice Williams: Nursing Research(4), 2001, 県北花子訳, 看護研究(4), ○○看護

出版, p,288-290, 2003.

【 電 子 文 献 】

著者名：表題名、雑誌名、巻(号)、発行年、アクセス年月日、URL、

発行機関名（調査／発行年次）、表題、アクセス年月日、URL

例) 文部科学省,厚生労働省(2014),人を対象とする医学系研究に関する倫理指針,2015年4月

10日閲覧, <http://www.mhlw.go.jp/file/06-seisakujouhou-10600000->

[daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf](http://www.mhlw.go.jp/file/06-seisakujouhou-10600000-daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf)

11 倫理的配慮とその記述方法（福島県看護協会：抜粋）

① 先行文献を調べて活用する。

既に研究結果が出ているテーマを繰り返し研究することは論理的に問題があるため、研究課題とその背景にあるものを先行文献から調べた上で研究のオリジナリティや価値、位置づけを明らかにし、発表の意義を明確にする。

② 研究フィールドや研究対象者を特定されないように配慮する。

「当院」「当病棟」等の表現では、研究者の所属を見ることから研究フィールドが特定され、固有名詞を使用していることと同じである。そのため、「A 病院」のように匿名化した表記とする。研究対象者へのプライバシーの配慮として、集録の記述内容で研究対象者が特定できないようにする。

③ 研究対象者の個人情報を保護する。

データの解釈に必要な研究対象者の情報は必要であるが、不必要な個人情報は公表しないように配慮する。例えば、入院および退院の情報が必要なときは、年月日でなく入院期間を記載する。

④ 研究者対象者への説明と自由意志による同意を得たことを記載する。

研究の目的、方法、期待される結果と対象者にとっての研究協力に関する利益、不利益を研究対象者へ伝えた上で、研究の実施と公表について同意を得たことを明確に記載する必要がある。またその際、研究協力への同意が強制されることなく、自由に判断できた事実を記載する必要がある。学生を対象とした研究の場合も患者を対象としたときと同様の配慮が求められる。例えば、入院患者に無記名で看護ケアの質評価の依頼をしても自由意志で調査への参加を決定したとは判断しにくいいため、退院時にこの調査を依頼するなど工夫が必要になる。あるいは教員が学生に調査を依頼する場合も授業に行ったり、担当科目の教員が調査依頼を行ったりすることは、自由意志を損なうことになりかねないため、十分に配慮し、またどのような配慮を行ったのかを具体的に明記する必要がある。

⑤ 倫理委員会での承認を受けたことを記載する。

所属施設の倫理委員会の承認を受けていることを明記する。倫理委員会がない場合にはそれに相当する決定機関（幹部会議、看護部、委員会）など、複数の第三者による組織的了解を得てい

ることを明記する。倫理委員会の名称は実名を記載するが、実名を記載することで研究対象者が特定される可能性がある場合には、「所属施設の倫理委員会」等の表記とする。

- ⑥ 研究への参加によって対象者に負担や不利益がないように配慮したことを記載する。

倫理委員会での承認を受けたことの記載のみでなく、対象者の負担や不利益を避けるために配慮したことを記載する。

- ⑦ 著作権等の侵害がないように配慮する。

文献から本文を引用する場合は、出典（文献）を明記する。図・表は転記許諾を得た上で出典（文献）を明記する。現存の尺度を使用する場合は、作成者から許諾を得たことを記載し、出典を明記する。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い、（ ）内に商品名と登録商標の場合は®を記載する。